

情 報 公 開 文 書

研究の名称	SPECT 画像を用いた心アミロイドーシスの定量評価法の検討
整理番号	R2020124
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学附属病院放射線部 診療放射線技師長 森光一
研究の概要	【研究対象者】 2018 年 7 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの期間中、富山大学附属病院において ^{99m}Tc ピロリン酸シンチグラフィ検査を行った患者を対象といたします。 【研究の目的・意義】 ^{99m}Tc ピロリン酸シンチグラフィが心アミロイドーシスの検出に有効であることが報告されています。心アミロイドーシス診断において、^{99m}Tc ピロリン酸シンチグラフィの平面画像上の心臓および対側胸部の radioisotope (RI) の集積の比を測定し、heart-to-contralateral (H-CL) 比を算出することで定量評価が行われています。しかし、平面画像では、患者の前後方向の厚みを無視した評価となるため、定量評価の精度を落とす要因となります。そのため、3 次元データである single photon emission computed tomography (SPECT) 画像上から H-CL 比を算出することで、^{99m}Tc ピロリン酸シンチグラフィによる心アミロイドーシス診断の精度が向上すると考えられます。 【研究の方法】 自施設の診療において得られた過去の ^{99m}Tc ピロリン酸シンチグラフィ検査を行った患者の画像を取得し、解析装置にて、平面像および SPECT 画像における H-CL 比を算出します。 【研究期間】 2020 年 9 月 28 日～2023 年 3 月 31 日 【研究結果の公表の方法】 学術大会で発表いたします。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	自施設の診療において得られた過去の ^{99m}Tc ピロリン酸シンチグラフィ検査を行った患者の画像を用いて、画像の収集カウント（ガンマカメラの検出器が放射線を検出し得られる信号の量）から、平面像および SPECT 画像における H-CL 比を算出します。本研究で得られた試料・情報の他機関への提供はございません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院放射線部 診療放射線技師長 森光一
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院放射線部 診療放射線技師長 森光一
研究対象者、親族等関	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関す

係者からの相談等への 対応窓口	る相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7812 E-mail mmm@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院放射線部 診療放射線技師長 森光一
--------------------	---